

第3回 松前町まちづくり女性会議

「誇れるライフタウン・まさき

～行ってみたい、住んでみたい、住んでよかった松前町～」をテーマに
皆さんからいただいた御意見は次のとおりです。

◆子育て環境等に関すること。

- ・松前町には早くからファミリーサポートセンターがあり、子育てに力を入れていると感じる。町内に子どもを遊びに連れていく場所はありませんが、子育て支援センターとファミリーサポートセンターがあるという面で、住んでよかったと思ってもらえる町だと思う。
- ・東京都杉並区では、子育て支援の各種サービスに利用できる「杉並区子育て応援券」の配布や、子育ての終わった住民のボランティア参加などを行っている。また、出生率日本一の島根県邑南町では、学校の制服補助や無償の修学旅行、各種資格取得の補助、町営学習塾無料、保育所無料、保育園に看護師が常駐、小児科医24時間対応の支援などを行っているとのこと。こういった成功事例を参考にした取組をしてはどうか。
- ・千葉県流山市では、保育園への送迎サービスや、カフェなどにも使えるオープンスペースのあるシェアオフィスが入った建物を造るなどの取組を行っている。松前にも、エミフル近くに老人ホームや病院、保育所などが集合した大きな建物が出来ればとても便利だと思う。また、子どもとお年寄りが簡単に交流できる環境があればよいと思う。
- ・役場の経費、外注費などを節減して、出産祝金などの各種支援に使ってはどうか。
- ・以前、共働きのため子どもを未満児保育に預けることになったが保育料が高かった。保育料の見直しを検討してほしい。
- ・松前町の豊富な食材を使い、献立作成ができる高齢者がボランティアで参加するなどして、給食費を無料にすることはできないだろうか。
- ・学校のホームページには、毎日給食の献立が写真でUPされており、保護者や学校職員の方が食育に力を入れていることが分かる。食育は大事だと思うので、給食を無料化してほしいという意見に賛成である。
- ・おばあちゃん世代が子育てを手伝うとき、もく浴など最近の子育ての方法が分からないという問題があると聞いた。松前の子育て支援センターでは、初めて子育てするお母さん向けの講習会はあるが、おばあちゃん世代向けの講習会はない。他自治体でも余りない取組だと思うので、松前町がやってみたら話題にもなると思う。
- ・今のお母さん世代とおばあちゃん世代では子育ての方法が違い、実の親子でも意見が食い違ったりするらしい。昔と今の子育ての違いの情報発信があれば、お母さんは子どもの世話をおばあちゃんに頼みやすいのではないか。
- ・PTA活動は、同世代のお父さんお母さんと知り合いになったり成人教育の場で色々なことを学べるよい機会になるので、若いお母さんに積極的に参加することをお勧めしたい。地域の人たちと知り合って互いに助け合い、地域の人みんなに子育てしてもらおうという環境が作れたらよいと思う。

- ・これから結婚・出産する立場で考えると、町内に産婦人科が欲しい。
 - ・松前町は子育てが充実しているという意見が多かったので、それをこれから子育てする世代にうまくPRできればよいと思う。
-

◆地域資源の活用等に関すること。

- ・松山市のスーパーで、他市の職員が裸麦のPRを行っていた。松前町職員も負けないようにPRしてほしい。
 - ・会議等でも、ペットボトルの飲み物ではなく、裸麦の麦茶を出すなどして特産品のPRをすれば、そこから口コミで評判が広がったりするのではないかな。
 - ・旅行先でお土産を買いたくても、物がなくて残念だったことがある。松前町でも国体に向けて、特産品のスイーツや、裸麦、ちりめん、珍味、味噌などのお土産を、商工会を中心に準備してはどうか。
 - ・“おたちゃん”と“みきちゃん”のコラボキャラや、その商品を作って松前町をPRしてはどうか。
 - ・松山市在住の友人から、松前町は駅やエミフル、スーパー等がほどよい距離にあり、子どもの検診も一箇所で定期的に行われるため受診しやすくて便利がよいと言われる。
 - ・松前町にはエミフルがあり、スーパーや病院、学校もある程度近くにあり、電車も通っていて便利。既に住んでよかったと思える町になっていると思う。
 - ・エミフル周辺におしゃれなカフェも少しずつ出来ており、駐車場にも困らないので松山よりも仲間で集まりやすい。SNSに写真を上げると、松山市の友人から店の場所を聞かれることもある。
 - ・塩屋海岸でのパドルボードや水陸両用ボートなど、町内の子どもも楽しめる観光の目玉を作ってはどうか。
 - ・国体リハーサル大会の会場で、もてなし料理をいただき、松前町は食も充実していると実感した。また、松前町は、コンパクトで雰囲気もよく、空港や高速道路のICが近くにあり、来町しやすい。国体を機会に、県外の方がまた松前町にきたいと思えるようなまちづくりに取り組んでほしい。
 - ・“想い通り”でジョギングやウォーキングする人が多いので、距離標識があるとよいのではないかな。
 - ・交通の不便な地域もあるので、巡回バスのルートを拡充してはどうか。
 - ・公園のアピールをもっとしたほうがよい。
-

◆景観や町並みに関すること。

- ・客観的に松前町を見ると、ほどよく自然もあり、大きなショッピングセンターもあり、住みやすいと思う。しかし、エミフルに行く道路沿いの木などが生え放題なのを見ると、もっと整備した方がよいと思う。
 - ・“想い通り”から塩屋海岸までの道沿いに、近隣住民に迷惑にならないように期間、時間を決めてイルミネーションをしてはどうか。タウン情報誌の特集にも載るような規模にすれば、松前町のシンボルになると思う。イルミネーションといえば松前町というイメージが作れたら、若い世代の人たちも松前に来たいと思うのではないかな。
-

◆地域活動に関すること。

- ・数年間公民館活動をお手伝いしたが、年齢が上の方が多いため、どうしても若い人が入りにくい雰囲気があるのではないかと思った。もう少し、いろいろな人が出入りしやすい地域づくりができたらよいと思う。
 - ・松前町開催の別のミーティングにも参加しているが、参加者の平均年齢が高い。昔の話を聞くことは勉強になり、松前の歴史を知る上ではよいのだが、子育て世代や若い世代へ目を向けたイベントや子育て関連の何かを作るときは、若い年代に絞って募集した方がよいと思う。
 - ・松前町は地域ごとに公民館と施設が行事を共有し、連携していると思う。災害時の避難ルートも、行政だけでなく施設ごとでも考えている。
-

◆安全・安心なまちづくりに関すること。

- ・家探しをするときには治安や交通の便を考えるが、松前町は夜に歩いてみると街灯が少なく、暮らすのは無理だという知り合いがいた。街灯を増やして、どこを歩いても安全なまちづくりをした方がよいと思う。
 - ・松前でマラソンの練習をしたいが、事前にコースを決めておかないと走りにくい道が多いと思う。道路沿いの溝や街灯について見直してほしい。
 - ・地震で電柱が倒れたら、親を背負っては歩けないだろうと思うくらい道路に電柱が多い。無電柱化や地中ライトの設置をしてはどうか。
 - ・松前町は県内の他市町と比べると土砂災害の危険性が低いが、逆に地区での防災力を上げようという意識も強くて、知り合いの女性が防災士の資格を町の予算で取得するという話を聞いた。自分もアンテナを張って、地域や町の情報をもっと取り入れて生かしたい。しかし、町からもこのような取組をもっと発信してほしい。
-

◆まちの情報発信に関すること。

- ・行ってみたい住んでみたいと思ってもらうには、やはり情報発信が大切だと思う。町の魅力を紹介するようなCMを作って、テレビやネット配信してはどうか。
 - ・インターネットでリアルタイム検索すると松前町のツイートが出てくるように、毎日 twitter で情報発信を行ってはどうか。
 - ・YouTube などを使って、動画を利用した情報発信をしてはどうか。
 - ・若い人は首都圏に集中してきているが、地方も若い人が増えることで活気付くと思う。町のホームページ以外にも Facebook やブログなど SNS を利用して情報を UP すれば、若い人が松前町に興味を持つのではないか。
 - ・町のホームページは興味がないと自分からは調べないが、SNS は誰かがシェアした情報が勝手に入ってくるので、興味がない人にも見てもらえる。CM も自然と目に入ってくるので、これらを利用すればよいのではないか。
 - ・自分が行きたいところを探すときは、インターネットで画像検索し、景色の写真を見ることが多い。松前町をインターネット検索すると、ポスターになるような綺麗な景色や場所、おいしい食べ物などの画像が見られるように、日頃から情報発信できれば松前町の PR につながると思う。
-

◆その他

- ・町内で婚活イベントを行っている話を聞かない。もっと出会いの場を作って、松前町に若い人たちが集まってくれるとよいと思う。
- ・若い人向けのイベントや、若い人が運営に携わるイベントがあると、若い人も松前町に来るのではないか。
- ・大道芸などを見られるところがあればよいと思う。
- ・動物を飼っている世帯が増えているので、エミフル以外にもドッグランがあるとよいと思う。
- ・フジグラン松山の市民サービスセンターやパスポートセンターのように、土日気軽に行政窓口があればよいと思う。
- ・移住者への補助制度を充実させたら、県外からも移住してくる人が増えるのではないか。